



JCSS  
JCSS 0297

総数 2 頁の 1 頁  
証明書番号 0000

## 校正証明書

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 品名                       | 粘度計校正用標準液  |
| 型式                       | JS 000   |
| 器物番号                     | LOT NO.000   |
| 製造者名                     | 日本グリース株式会社   |
| 校正項目                     | 動粘度及び粘度  |
| 校正方法                     | 細管式粘度校正装置を用いた比較測定法による動粘度測定<br>動粘度に密度を掛けて粘度を算出する                                    |
| 校正実施条件                   | 動粘度校正時の校正室内の環境条件は次のとおり<br>空気温度(℃) 湿度(%) 大気圧力(hPa)<br>00.0~00.0 00.0~00.0 0000~0000 |
| 校正実施場所                   | 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-12-4   |
| 校正実施年月日                  | 0000年00月00日~0000年00月00日  |
| 校正結果は、次頁のとおりであることを証明します。 |  |
| 発行日                      | 0000年00月00日  |
| 有効期間                     | 0000年00月00日  |

神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-12-4  
日本グリース株式会社 標準室

発行責任者 ○ ○ ○ ○

この証明書は計量法第 144 条(第一項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部のみを複製して用いることは禁じられています。

この証明書を発行した事業者は、JIS Q 17025(ISO/IEC 17025:2017)に適合しています。この証明書は ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)の MRA(相互承認)に加盟している IAJapan に認定された校正機関によって発行されています。この校正結果は ILAC/APAC の MRA を通じて、国際的に受け入れ可能です。有効期間については、JIS Q 0031 (ISO Guide 31 : 2015) に適合するように記載された事項であり、計量法 144 条第一項に規定された事項ではありません。

## 校正結果

| 温度 (°C) | 動粘度 (mm <sup>2</sup> /s) | 粘度 (mPa·s)   |
|---------|--------------------------|--------------|
| 00.00   | 000.00 ±0.00             | 000.00 ±0.00 |
| 00.00   | 000.00 ±0.00             | 000.00 ±0.00 |
| 00.00   | 000.00 ±0.00             | 000.00 ±0.00 |

記号±に続く数値は拡張不確かさを表し、包含係数  $k=2$  を合成標準不確かさに乗じて求めたものである。包含係数  $k=2$  は、正規分布においては、約 95% の信頼の水準に相当するものである。また、合成標準不確かさの内訳は下記である。

| 温度 (°C) | 校正値の不確かさ内訳 (%) |         |            |
|---------|----------------|---------|------------|
|         | 動粘度 (※1)       | 粘度 (※1) | 保存安定性 (※2) |
| 00.00   | ±0.00          | ±0.00   | ±0.00      |
| 00.00   | ±0.00          | ±0.00   | ±0.00      |
| 00.00   | ±0.00          | ±0.00   | ±0.00      |

※1 標準細管粘度計による校正の不確かさと、同一ロット内の均質性の不確かさを含む

※2 未開封で 2 年の保存安定性の不確かさ

粘度の算出にはピクノメータによる次の密度測定結果を用いた

| 温度(°C) | 密度(g/cm <sup>3</sup> ) |
|--------|------------------------|
| 00.00  | 0.000 00 ±0.000 00     |
| 00.00  | 0.000 00 ±0.000 00     |
| 00.00  | 0.000 00 ±0.000 00     |

記号±に続く数値は拡張不確かさを表し、包含係数  $k=2$  を合成標準不確かさに乗じて求めたものである。包含係数  $k=2$  は、正規分布においては、約 95% の信頼の水準に相当するものである。

以上